

—安全安心・公正・活力—

かわにしただのぶ

川西忠信 市政報告



【発行】
 姫路市議会 会派「創夢会」
 市議会議員 川西忠信
 〒671-2401 姫路市安富町安志323-2
 TEL.0790-66-3567
 FAX.0790-66-3525

平成20年度 姫路市予算の概要



総額 3,691億円

JR姫路駅前(北)広場現況

●一般会計 **2,069億円**

●特別会計 **1,391億円**

(中央卸売市場、下水道、国民健康保険介護保険、老人保健医療等全14会計)

●企業会計 **231億円**

(水道、交通、都市開発整備、コミュニティ・プラント)

■歳入の内、市税は **971億円**

(個人市民税 278億円、法人市民税 125億円、固定資産税 416億円、事業所税 36億円、たばこ税 39億円等)

主たる事業

姫路駅周辺整備 (JR播但・姫新線高架切り替え 8億4,700万円、関連道路整備 9億円、駅東西の自由通路整備 4億4,600万円等) 計約 40億円、新美化センター・エコパークあぼしの整備関連 74億9,500万円、姫路菓子博覧会、小中一貫校のモデル校整備等

平成20年度 安富町関連予算の概要



・他市の膜ろ過施設



・植木野浄水場予定地

植木野浄水場 膜ろ過施設、配水池整備工事等... **5億4,500万円**



道路新設改良事業(南北幹線他) **1億9,700万円**



治山・林地崩壊防止事業、水路整備等 **1億2,000万円**

- ・橋りょう耐震化事業.....7,200万円
- ・橋りょう改良事業.....3,300万円
- ・河川改修工事.....1,120万円
- ・山林部の地籍調査事業.....2,840万円
- ・緊急防災林整備事業・環境対策育林事業・森林管理委託事業等.....4,000万円

- ・下水道集中処理区域の検討.....1,350万円
- ・グリーンステーション鹿ヶ壺の管理運営、施設整備事業.....671万円
- ・合併浄化槽設置助成.....750万円
- ・防災倉庫の設置.....365万円

- ・あじさいまつり、森と湖と炎のまつり等.....417万円
- ・統合型地理情報システムの整備.....1,750万円
- ・宍粟環境事務組合負担金.....1億4,000万円
- ・にしはりま環境事務組合負担金.....965万円
- ・あじさい苑(火葬業務)の委託.....500万円

安富中学校 格技場(剣道場)及び自転車置き場が完成



写真は、3月23日(日)に行われた、安富剣道クラブ「若杉杯争奪戦」の試合の様子です。

- 1 階 自転車置き場(約98坪)
 - 2 階 格技場(剣道場)柔道にも使えます。(約98坪) 鉄骨造 2階建て
- 予算額 約1億2,700万円

2階道場の壁は、杉の板張り仕上げであり、木のぬくもりと柔らかさを感じる、大変立派な建物が完成しております。安富中学校剣道部は、合併直後の姫路市大会で優勝したり、団体・個人とも立派な成績を残しております。これまで、旧青年の家で練習していましたが、敷地内に立派な道場が完成したことにより、今後より一層の活躍が楽しみです。

飲料水兼用耐震性貯水槽(安富事務所西側駐車場地下)が完成

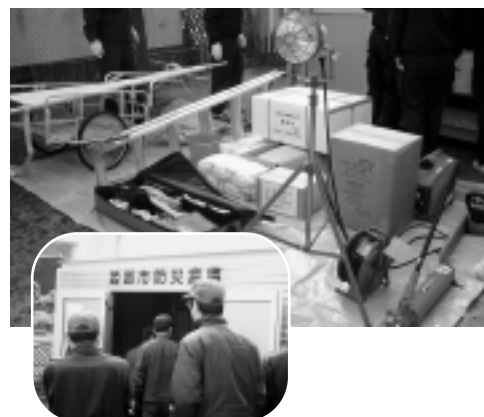
3月16日(日)安富事務所西側駐車場に完成した飲料水兼用耐震性貯水槽(60^ト級)の使用方法についての説明会がありました。出席者は、消防局危機管理室、安富町連合自治会役員及び、安富町消防団役員の皆さんでした。

1. 目的
災害時には、飲料水及び初期消火用水として60^ト以上の水を確保する水槽で、必要な1日ひとり3^リ、6,000人(安富町)に対して3日間の給水を確保します。
2. 貯水槽の確保
円筒形ダグタイプ鉄管(直径2^尺、長さ20^尺)で水道管の水減圧により緊急遮断弁が作動し貯留する仕組みとなっており、水圧がもどれば自動的に復旧します。(平常は、水道管と直結しておりタンク内の水は入れ替わる)
3. 管理運営
平常時は、飲料水として安全を図るため企業局(水道部)で管理し災害時には自主防災会や消防団などが飲料水や初期消火に活用します。
4. その他
災害時に活用する給水スタンド等は、隣接している消防団倉庫に収納しています。



※山崎断層を直下に抱える安富町にとって、大変心強い施設ですが、利用する機会がないことを祈りたいところです。

安富北小校区 コミュニティ防災資機材倉庫を設置



小学校校区の自主防災会や消防団などが、災害時に効果的な地域ぐるみの活動が展開できるよう、防災倉庫と併せてコミュニティ防災資機材を市内全域に整備が進められておりますが、今年度、安富北小学校に設置されました。

1. 目的
災害時に自主防災会や消防団などが、効果的な地域ぐるみの活動が展開できるよう、コミュニティ防災資機材を設置しました。
2. 管理運営
平常時は、地域での機材の活用や防災訓練の展示啓発等を行い地域で責任をもって管理を行い、機器の点検については、消防局で毎月1回程度行います。
3. 防災資機材は、投光器、チェンソー、発電機、仮設トイレ等30点です。

※平成20年度には、安富南小学校区にも新たに設置される予定です。